



工事タイムス

— 鐵 道 —

- 施工規則の制定 鐵道省では從來各局別の所管工事を省全體の經濟上と能率上から統一的な施工規則を造る爲め委員を設ける由。
- 關門トンネル五年度着手 沈埋式に依る時は約2千3百萬圓又シールド式に依れば約3千萬圓の豫算を以て目的を達し得る見込といふ大井上技師の報告によつて愈本設計に着手すべく而して四年度乃至五年夏初頃には設計を完成五年度内に本工事に取掛り豫定通り昭和九年度或は十年度迄には完成をみるのであらう。
- 突風で貨車脱線 三月四日午前零時十五分頃常盤線熊川鐵橋上を走行中の貨物列車三十一輛連結のものが突風に遇ひ機關車と次の5輛が脱線轉覆した、因に東北地方は平常から風強く36米位の烈風で汽車不通の事も應々ある。
- 中央線の電化工事 中央線八王子甲府間の電化工事は準備愈々進捗し、名古屋鐵道局の工務電氣兩課の手で近く着工される事となり工費113萬6千圓を計上し本省からの指令を待つてゐる由。
- 日本のヒマラヤに汽車開通 飛驒山地高山線の敷設工事は大正十四年八月起工して今般金山まで四十五哩開通、大小トンネル八、橋梁三、全國最難工事と目され、工費2百2萬4千4百餘圓、一哩當り24萬1千餘圓を費した。
- 下調べの東京市營地下鐵 東京市營地下鐵道事業は愈豫算30萬圓を計上して現在市電調査課の大擴張を行ひ今年中には終了する筈である。

— 建 築 —

- 七層樓の體育會館 大阪體育協會では今度總建築費45萬圓を投じて大阪市に一大體育會館設立の計畫を樹て目下着々準備を進めてゐる。
- 神戸市 城ヶ口に鐵筋コンクリート5階建の國立移民宿泊所が竣工した3月から開所。
- 日本一の大郵便局 東京赤坂郵便局では赤坂表町に鐵筋コンクリート三階建てで工事一ヶ年間を費した郵便局を設立した、蓋し日本一の大郵便局である。
- 新築披露した明治座 洋風鐵骨鐵筋コンクリート2階建、外觀は新橋演舞場内部は歌舞伎座と松竹座とを折衷した形式の明治座が竣工した3千人近くも收容が出来る。
- 立派な食堂 昌平橋ガード下の神田慈善協會經營の公衆食堂では昨年八月から工費6萬圓餘を投じて延坪224坪鐵筋コンクリート二階建の大食堂を今回竣工した。
- 法隆寺の防火水道 大正十一年以來七ヶ年を用し29萬5千圓を費した大和法隆寺の防火水道工事は完成した。
- 大饗宴場工事 京都御所内に新築される大饗宴場は入札の結果大林組が約25萬圓で落札し内匠寮の鈴木技師監督のもとに三月から工事に着手。
- 慈惠病院新築 東京慈惠會病院では今回經費90萬圓を投じて芝罘岩町に四月一日から本建築に着手する事になつた、明年四月落成の豫定。
- 近く竣工する三大圖書館 東京市内に日比谷圖書館程度を深川、一ツ橋、築地の三ヶ所に建設工事中であつたが、近く竣工する事となつた。深川は地下室とも四階建延坪150坪、鐵筋コンクリート、工費27萬6千150圓、一ツ橋は鐵筋コンクリート四階建延坪663坪、工費41萬5千150圓、築地は鐵筋コンクリート四階建延坪580坪工費30萬8千7百圓。
- 四國一の徳島新縣廳 佐野博士に新築設計を依頼した徳島縣廳は鐵筋コンクリート三階建2千3百坪の最新型式のプランの由。

— 道 路 —

- 模範道路 東京日本橋區濱町三丁目から清州橋を渡り深川區東扇橋に出て府下砂町に通ずる幹線第二十八號路線工事は復興局の工事で清州橋と俱に竣工に近きつあるが此の路面には電柱一本もなく總

て地下線として埋設したものである。

○東京市最重要の新事業 東京市は昭和三年新事業の最重要なるものとして第二期路面舗装工費約141萬5千圓、山手都市計畫街路修築工費78萬圓を遂行する事となり、目下その案の審議中である。

○愛宕山に隧道 東京市土木局では麻布飯倉方面と芝愛宕方面との交通不便を救ふべく愛宕山に隧道を設けんと豫算80萬を以て四月起工の豫定。

○グリーンタウン化計劃の帝都 復興局では豫めて二萬坪の苗木其他樹木の培養をして帝都復興と共に街の緑化を計劃してゐたが三月以降樹木の植換時期に臨んで道路工事の片附いた街に一齋に植樹を開始する事になった。

—— 橋 梁 ——

○四國高松國藻橋竣工 長さ85尺、幅32尺工費約3萬圓鐵筋コンクリートの國藻橋竣工、白堊の美しい粧は異國的風景の趣がある。

○大阪の四橋 大阪の名物四つ橋、上繫橋下繫橋は昨年秋竣工、炭屋橋も最近出来上り残る吉野屋橋は今年秋竣工の豫定、京大武田博士の苦心の日本風趣を近代式に加味、上繫橋は長13.5間幅15間工費23萬圓、他の三橋は各幅5間、工費9萬圓乃至10萬圓。

○大跨線橋二百尺 東北本線日暮里驛の總工費2百萬圓の跨線橋は六月頃竣工の豫定、なほ鶯谷驛も同様の跨線橋が出来る由。

○日本橋の化粧 震災のまゝであつた日本橋の化粧漸く始まる、工費約2百萬圓、来る五月完成の豫定

○清州橋の落成 長さ186.6米突、幅22米突(起工大正十四年)279萬6千圓を費した世界的(大正十五年六月工事書報に下部工事ニユマチックケーソン詳報)釣橋式の清州橋は三月十日落成した。

○吉野川の穴吹橋 長229間、ワーレントランス式(河積上150間はプレートガーター)の穴吹橋は三月竣工、工費33萬6千圓、東洋に比額なしとの由。

○大正橋落成 高知縣宇和島線の大正橋は三月三日落成舉行、延長75間總工費10萬5千圓。

—— 港 灣 ——

○京濱運河民營に嚴重な條件 京濱運河の出願者たる淺野總一郎氏に對して内務省は、計劃條件と監督條件とを嚴重に定め許可の方針であると傳へらる。

—— 水 道 ——

○七排水區分の大阪新市域 大阪市では事業費1,750萬圓を以て新市域を七方面に分つて下水道事業を主とした工事を四月から起工の由。

—— 水電工事 ——

○朝鮮に二大水電計畫 昨年末久原房之助氏は咸鏡北道黃水院江に20萬キロ、福澤桃介氏は江原道漢江上流に12萬キロの水力利用を出願し窒素肥料アルミニウム製造の目的、當局で内容調査中の由。

○發電工事五年くり延協議 昭和七年度には餘剩電力55萬キロに達する豫定なので新規計劃中の發電工事は今後五ヶ年繰延べようと云ふ五大電力会社の協議が進みつつある、此の調査會は二月二十八日東京電燈會社に開いたが三月九日具體的に調査に向つて又會合する由である。

○電力制限 の以上の方法としては結局次の如き電力プールの組織である。

一、各社の發電計畫中(傍系會社をも含む)建設費の高位にして不採算なる水利地點および發電所は主務省の認可を得て工事着手時期を延期すること。

一、くり延べにより需給の平衡を得たる後の新規需要に對してはなるべく建設費の低位なる水力を主とし水力の場合には各社を通じて優秀なるものより着工すること。

一、水力の不足を水力にて補充する從來の方針を變更し火力を常用にすること。

一、水力、豫備火力等において優秀なるもの送電線の連絡により數社間において共用すること。

—— 人 事 ——

○石川源二 燈臺局工務課長としてのオーソリーチーたる同博士は今回二十餘年の官界生活を退き民間にて海事關係の土木建築工事の設計監督の事務所を經營される由(東京に於ける事務所は丸ノ内時事新報社ビル内)

○池邊稻生 復興局東京第三出張所長として令名のあつた同氏は今回同所長を辭して東京市の復興事業局長に任ぜられた。

○谷井陽之助 東京市橋梁課長で聞へてゐた同氏は今回合資會社東京鐵骨橋梁製作所へ技師長として入

社した。

○高田景 神奈川縣土木課長から復興局横濱出張所長に轉じた氏は僅か二年程で今回勅任官となり同時に復興局を退き氏には馴染の深い京都市土木局長に任ぜられた。

○木村喬 復興局横濱出張所工事課長たりし氏は今回高田氏の後をつぎ同所長に任ぜられた。

— 會 合 —

○技術者資格檢定試験 東京丸ノ内仲通り六號館日本人工俱樂部の行事の一たる土木、建築、機械、應用化學の四科目に就ての檢定試験は愈々四月十九日から舉行する事になり、本年は大阪支部（北區澤上江町三ノ一）及び札幌支部（北六條西十七丁目）に於ても同日に試験を行ふ由、所謂技術者の登龍門として年々認められつゝある。

○全國工業會議 工政會は來る四月八、九兩日東京で全國工業家大會に引續き全國工業會議を開催することになつたが、同會議に付議する事項は左の三件である。

- 一、工業の國際的聯携の件
- 二、工業試験研究機關改善の件
- 三、工業品の單純化に關する件

○電氣博覽會 四月一日から富士身延鐵道全通を機に山梨電業協會が甲府市で開く。

— 雜 —

○コロンプス記念燈臺の設計圖案懸賞募集 南米ドミニカ共和國首府サント、ドミンゴルコロンプスの記念燈臺を建設するに就て、その設計圖案を廣く世界に懸賞募集することになつた。応募希望者は設計要領書と共に年齢履歴經驗等を添書してワシントン汎米同盟本部建築顧問アルバート、チルゼー氏宛申込む事。

○鐵鋼材使用量 國力の發展と鐵鋼需要量とが一致するもので商工省にて昭和元年の需要量を調査完成した報告によると(單位噸)

用途別	數量	割合
鐵道	264,709	24.8
土木建築鐵骨構造	252,870	23.7
造船	90,384	8.5
機械鐵工	264,299	24.7
石油瓦斯水道	22,286	2.1

鑛山	25,286	2.3
其他	149,224	13.9
合計	1,069,058	100.0

又品目別に見れば

品目別	數量	割合
軌條及付屬品	166,898	15.6
棒	342,666	32.1
型	160,080	14.9
板	212,388	19.9
ワイヤロツト	63,205	5.9
筒及管	24,679	2.3
其他	96,112	9.3
合計	1,069,058	100.0

○トンネル式射撃場 民家への外れる玉を封ずるべく戸山ヶ原に長300米突地面幅20米突蒲鉾形鐵筋コンクリート造りが三つ出來た。なほ他に四つ新設される由。

○岐阜縣 吉城郡の三井神岡鐵山の水力電氣工事赤谷トンネルに於て1月17日午後6時土砂崩壊死者3名を生じた。

○十六名生理 長野縣上伊那郡南方村天龍水電第八發電所トンネル入口は大雪のため崩壊し十六名の生理となつた、2月14日の出來事。

(26頁よりつゞく)

四、施工上の經濟

本工事に於ける杭打器機据付準備より杭打を終了し、器械の解體迄に至る大工及杣工を除く人工は杭一本當り二分三厘に該當す。

眞矢バイレン式に於いては五分九厘なり。

杭木を除外して、汽錘式に據る損料、消耗品、電力料、運轉手給料等を合算せば大約一本當り概算費八十錢内外とす。

杭打日数は眞矢バイレン式に於いて一日十二本半を打込みたり。汽錘式にては杭打日數及降雨日を除く四十二日間にして一日平均正味九時間施工し、器械故障及中途にして降雨あり作業を中止せる場合を一日に加算して、一日平均五十一本半の成績となれり。因に本工事に於いて

最初の一撃に據る杭の沈下が全本數に涉る平均、十三尺五寸餘なることを當敷地の標準に見做すとを得たり。(以上)